

2023年度 共立女子大学大学院 試験問題

選抜制度	日程	研究科	領域	科目
一般	Ⅱ期	文芸学研究科	日本文学領域	専門科目(日本文学)
受験番号		氏名		採点

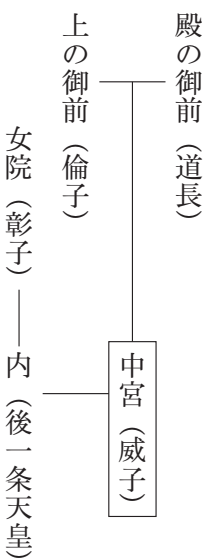
一次の文章は、中宮威子が出産が近づいた中、様々に安産の祈禱が行われる場面である。よく読んで、後の問に答えなさい。

かくて中宮、①神無月になりぬれば、左衛門督の家(注1)に出でさせたまひておはします。殿の御前も昼ぞ御堂へはおはします。夜はこの宮におはします。上の御前もAやがておはします。さきさきの宮々の御時の御祈りどものままにせさせたまふ。このたびはもの恐ろしさBゆゆしさそひて思さるれば、いとど事まさり、よろづにせさせたまふ。さぶらふ女房たちのなかにも、子などはかばかしからずしなしたる人は、尋ねさらせたまひて、このほどは参るまじき仰せごとあり。内よりの御使、よる夜中わかぬも、Iおろかならぬ御気色しるげなり。かくいふほどに②霜月になりぬれば、内裏わたりのさまさまのことども、若き人々は思ひやり言ふめり。よろづよりもおはします殿の狭ければ、ここさぶらふ御祈りの僧なども、そのわたりの家どものほど広きに押し入るやうにて混みゐたり。おほかたの御心に、ともすれば例ならず苦しげにのみおはしませば、殿ばらも静心なげに思したり。まいてこの月になりぬれば、待たせたまふことそひて、恐ろしう思さるべし。御乳母におとなひ申す人多かり。この殿の内に、ただ今はこの御ことよりほかのことなし。女房たち人知れず白き物どもをいそぎあへり。

はかなくて月もたちぬ。③師走になりぬれば、たちぬる月にだにさおはしますべかりしに、あやしくC心もとなさを思し騒ぎたり。ついたちも過ぎゆけば、IIいとあやしく、いかにとのみ思しめすほどに、十日の昼つ方より、例ならぬ御気色なれど、Dわざとも見えさせたまはねば、心のどかに思さるるに、日暮るるままにぞ、まことに苦しげにおはします。この殿ばらや、ほかの④上達部も参りこみたまふ。ここの僧どもの声を合はせたるほど、すべてものも聞こえず。殿の御前悩ましく思さるれど、護身(注2)まゐらせたまふ。内より、女院よりの御使続きたちたり。近江の三位、宰相の乳母など皆参れり。
亥の時ばかりにぞ、いと平らかにせさせたまへる。

『栄花物語』巻第二八「たまみづ」

〈系図〉



注1 左衛門督の家……道長の甥である兼隆の邸宅。中宮の出産のための里下がり先に選ばれた。

注2 護身……真言行者が心身を守るために印を結び、真言を唱えること。ここは道長が威子を守護するために行った。

2023年度 共立女子大学大学院 試験問題

	選抜制度		研究科	領域	科目
	一般	Ⅱ期	文芸学研究科	日本文学領域	専門科目(日本文学)
	受験番号	日程	氏名		
					採点

問一 二重傍線部①～④の漢字の読みを現代仮名遣いで書きなさい。

- ① 〔 〕 ② 〔 〕
 ③ 〔 〕 ④ 〔 〕

問二 傍線部A・B・C・Dの意味を書きなさい。

- A 〔 〕 B 〔 〕
 C 〔 〕 D 〔 〕

問三 太線部ⅠとⅡを現代語訳しなさい。

Ⅰ

Ⅱ

問四 次の①から④の文を読んで、問題文に合致するものを○、合致しないものには×を書きなさい。

- ① 中宮威子付きの女房として、子育てをしたことがない人のみ参上するようお達しがあった。
 ② 中宮威子の安産祈願は盛大に行われ、僧たちが近所の家々にあふれるほどであった。
 ③ 中宮威子の出産の際、安静を保つため、帝や女院彰子からの見舞いの使者も控えられた。
 ④ 出産予定月の翌月となったが、中宮威子は無事に出産することができた。

- ① 〔 〕 ② 〔 〕 ③ 〔 〕 ④ 〔 〕

問五 『栄花物語』以前に成立した作品を次の中から一つ選び、記号を○でかこみなさい。

- ① 『奥の細道』 ② 『徒然草』 ③ 『増鏡』 ④ 『枕草子』

2023年度 共立女子大学大学院 試験問題

選抜制度	日程	研究科	領域	科目
一般	Ⅱ期	文芸学研究科	日本文学領域	専門科目(日本文学)
受験番号		氏名		採点

二次の問題文をよく読んで、後の問に答えなさい。

「脱構築批評」は、現代の批評理論のなかでもっとも難解なものだという定説がある。しかし、ある明快な作品解釈に出会ったとき、それに説得される一方で、「本当だろうか？」という疑問の声が生じてくる経験は、だれにでもあるだろう。それとは衝突する別の解釈の可能性があるような気がしてくるのだ。こういうとき、私たちは【Ⅰ】的にテキストを脱構築しようとしていると言える。脱構築批評とは、テキストが互いに矛盾した読み方を許すものであること、言い換えるなら、テキストとは論理的に統一されたものではなく、不一致や矛盾を含んだものだということを明らかにするための批評である。アメリカの代表的な脱構築批評家J・ヒリス・ミラーは、「脱構築とは、テキストの構造を分解することではなく、テキストがすでに自らを分解していることを証明することだ」と説明している。《A》、従来の解釈を否定して別の正しい解釈を示すのではなく、テキストが矛盾した解釈を両立させていることを明らかにするのが、脱構築批評の目的なのである。

批評史のうえでは、脱構築は構造主義や形式主義に対する反論として出てきたもので、たんにポスト構造主義のひとつとして位置づけられる場合もある。構造主義は、文学を含め人間の文化のあらゆる要素は、ⓧ記号体系を構成していて、それを支配する統一的な法則があると考えた。たとえばフランスの構造主義者レヴィ・ストロースは、時代や地域の異なる文化から生じた神話の⓪プロットにおいて、共通の要素が含まれることを指摘し、あらゆる神話は【Ⅱ】的な人間の意識によって書かれたひとつの大神話の一部だと主張した。しかしポスト構造主義者たちにとっては、すべてのものの意味や形を理解するための絶対的なⓁカギが存在するというような考え方自体が、納得できないものだった。

《B》、構造主義と形式主義は、テキストには意味の「中心」があるという考え方を共有するが、ポスト構造主義はこれに対して異を②トナえる。特にニュー・クリティシズムを中心とする形式主義では、文学は内部で完結した統一体とされ、それを構成している複雑な要素の③カラみ合いのなかから、中心の意味が見出せるという考え方が土台となる。しかし、テキストが首尾一貫した統一体であることを否定する脱構築批評は、逆にテキストの異種混交性や意味の決定不可能性を見出そうとするのだ。《C》、文学テキストに焦点を置き、テキストの外にある作家の人生や時代背景などとの関連を解釈に持ち込まない点では、脱構築批評と形式主義批評は方法的に共通する。

deconstruction という造語をつくったのは、フランスの言語学者ジャック・デリダで、脱構築批評家たちがデリダの影響を受けていることは言うまでもない。デリダは、西洋文化においては【Ⅲ】的な思考パターンが支配的であることに着目した。たとえば、白／黒、男／女、原因／結果、はじめ／終わり、明／暗、意識／無意識など、対をなす対立概念の例は無数にある。デリダはさらに、それらがたんに対立しているだけでなく、一方が優れていて他方が劣っているとされたり、一方が肯定的に、他方が否定的に捉えられたりする傾向があり、そこに階層が含まれていることを指摘した。デリダはこの「二項対立」の境界を消滅させることを目指し、対立に含まれている階層に疑問を突きつけることによって、【Ⅳ】的論理を批判しようとしたのである。した

2023年度 共立女子大学大学院 試験問題

選抜制度	一般	Ⅱ期	日程	研究科	文芸学研究科	領域	日本文学領域	科目	専門科目(日本文学)
受験番号	氏名		採点						

がって脱構築批評では、テキストの二項対立的要素に着目し、その階層の転覆や解体を試みるという方法がしばしばとられる。

(廣野由美子『批評理論入門―『フランケンシュタイン』解剖講義』による)

問一 二重傍線部①～③のひらがなを適切な漢字に改めなさい。

① 〔 〕 ② 〔 〕 ③ 〔 〕

問二 傍線部ⓧ・Ⓨの意味を、それぞれ簡潔に説明しなさい。

ⓧ 〔 〕 Ⓨ 〔 〕

問三 ≪ A ≫ ～ ≪ C ≫に入る語を、それぞれ次の語群から選びなさい。(重複解答不可)

A 〔 〕 B 〔 〕 C 〔 〕

語群 …… さらに ただし たとえば つまり また

問四 〔 I 〕 ～ 〔 IV 〕に入る語を、それぞれ次の語群から選びなさい。(重複解答不可)

I 〔 〕 II 〔 〕 III 〔 〕 IV 〔 〕

語群 …… 客観 集団 衝動 神秘論 西洋 二項対立

問五 脱構築批評とはどのようなものか。問題文の主旨に即して、過不足なく説明しなさい。
